

生命倫理1

科目ナンバー 7A107
基礎分野 必修 1単位

佐野 和美

1. 授業の概要(ねらい)

医療技術に関わる者は、常に、患者に寄り添い、人としての尊厳を尊重する必要があります。この講義では、柔道整復師を目指す皆さんが身につけるべき生命倫理の概略を学びます。近年の医療技術の急速な発展に伴い、生と死を巡る問題は多様化しています。それに伴い、科学だけでは判断できない事象も増えています。この講義では、明確に白黒つけられない問題についても、自分で考え、皆で議論する機会を持ちます。

特に、前期は、「生」に関わるテーマを取り上げます。生殖補助医療、出生前診断、遺伝子検査、クローンなど、生命誕生にまつわる問題を、講義やグループワークを通じ、さまざまな視点から考えていきます。(後期は「死」に関わるテーマを扱います)

この授業では、論理的批判的思考力・能動的な態度とともに、科学・医学についての幅広い知識や態度を習得します。この授業は柔道整復学科のDP1に該当します。

2. 授業の到達目標

- ①生命倫理に関わる用語を学ぶ。
 - ②生命誕生・命の選別などの社会問題について理解を深める。
 - ③他人と議論し、多様な価値観があることを学ぶ。
 - ④これらを通じて、自分なりの意見、考え方をしっかりと持つこと。
- を目指します。それとともに、レポートの書き方やグループで作業をすることにも慣れていくください。

3. 成績評価の方法および基準

- 1)各回提出してもらいアクションペーパーもしくは小テスト:40%
- 2)グループワークへの貢献:10%
- 3)中間レポート:20%
- 3)学期末のレポート:30%

必修科目ですので、できる限り毎回出席してください。出席回数が3分の2に満たない場合は、単位を与えません。

アクションペーパー、レポートなどは返却し、フィードバックを行います。

ファイルを配るので、そちらにすべて保管し、レポート等に利用してください。(後期の授業でも使用します)

※オンライン授業になった場合、前期はLMSを利用した授業、後期にグループディスカッションを行うようにシラバスを変更します。それに伴い、評価基準も多少変更します。

詳細は、ガイダンスで連絡します。

4. 教科書・参考文献

教科書

児玉聡 マンガで学ぶ生命倫理

ISBN-13: 978-4759815429 化学同人

5. 準備学修の内容

各回終わりに、翌週までに教科書の該当する章を読んでまとめるように指示します。

授業で使ったスライド等はLMSに掲載しますので、復習・予習に利用して下さい。また、必要に応じて、テーマに該当するニュースを新聞、インターネットなどを通じて調べてくるように指示を出すこともあります。

予習復習にかかる時間は1時間～1時間半です。

6. その他履修上の注意事項

柔道整復学科の必修科目です。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス／グループ分け |
| 【第2回】 | グループワーク①(ドーピングについて考える) |
| 【第3回】 | 生命倫理とは何か |
| 【第4回】 | 現代における生と死の課題 |
| 【第5回】 | グループワーク②(身近な話題を調べて話し合う) |
| 【第6回】 | 人工授精と着床前診断・出生前診断 |
| 【第7回】 | グループワーク③(生命の選別について考える) |
| 【第8回】 | 遺伝子医療とデザイナーベビー |
| 【第9回】 | グループワーク④(遺伝子医療について考える) |
| 【第10回】 | 中絶と胎児の権利 |
| 【第11回】 | グループワーク⑤(権利と義務について考える) |
| 【第12回】 | クローン技術と再生医学 |
| 【第13回】 | 動画視聴予定 |
| 【第14回】 | グループワーク⑥(未来の課題について考える)・レポート提出日 |
| 【第15回】 | 前期授業のまとめ |